

貧困社会を考える

心理学は何ができるのか



現在、経済格差と貧困が、子どもや若者にもたらす心理的な問題への関心が高まっています。経済的な格差がもたらす学力格差や、貧困の連鎖が生み出す社会情動的スキルの未発達など、解決に向けて心理学が貢献すべき課題は数多くあります。心理学や心理的支援の専門家が、どのようにこの問題の解決に寄与できるのか、寄与すべきなのか、いまこそ、広範な議論をすべき時です。ここでは、貧困と格差の問題を、科学的に捉えながら、実践的な支援をどうデザインすべきかを考えていきたいと思ひます。

企画

原田 悦子

(筑波大学人間系)

茂呂 雄二

(筑波大学人間系)

司会

原田 悦子

● 東京会場・京都会場

指定討論者 仲 真紀子 (立命館大学総合心理学部)

話題提供者	テーマ
小澤 いぶき (NPO法人PIECES)	児童精神科医の立場から
加藤 弘通 (北海道大学教育学部)	学校からみた貧困問題
茂呂 雄二 (筑波大学人間系 / 任意団体ジャパン・オールスターズ)	活動理論に基づく学習心理学の立場から

2017 8.26 SAT

13:30~17:00 定員200名【入場無料】
(開場13:00)

東京会場

東京大学 駒場キャンパス 21KOMCEE East K011 番教室

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

▼京王井の頭線 駒場東大前駅

●案内図 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html



2017 12.9 SAT

13:30~17:00 定員180名【入場無料】
(開場13:00)

京都会場

京都女子大学 C号館 305教室

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

▼JR京都駅・四條河原町から京都女子大学までの直通バス「プリンセスライン」「京都女子大学前」で下車

●案内図 <http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html>



※参加希望の方は必ず事前にお申込みください。お申込みいただいていない方は、ご入場いただけない場合がございます。

お申込みはE-mail、Fax、往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。
(E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください。) ※各シンポジウムごとにお申込みを受け付けております。他のシンポジウムへの参加を希望される方は、別途お申込みください。

お知らせ頂いた個人情報は、シンポジウム受付の目的にのみ利用します。



公益社団法人日本心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル

Tel.03-3814-3953 Fax.03-3814-3954 E-mail:jpa-event@psych.or.jp <http://www.psych.or.jp/>